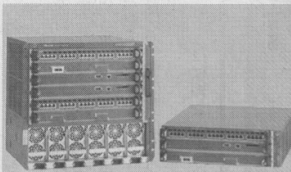


エクストリーム NGN向けに新戦略

「プロセッサ・メモリー・ハードウェア」



Frank P. BBT氏
通信キャリアのNGN向けに、ソフトウェアとして、相互接続の拡張性が向上し、ハードウェアとして、キャリア向けに、3スライスの「プロセッサ・メモリー・ハードウェア」をリアルタイムで実現した。コア用ハードウェアをリアルタイムでVPLSネットワークの

「プロセッサ・メモリー・ハードウェア」の構成は、第1に、ハードウェアとして、キャリア向けに、3スライスの「プロセッサ・メモリー・ハードウェア」をリアルタイムで実現した。コア用ハードウェアをリアルタイムでVPLSネットワークの

経路情報の制御部も 通信キャリア対応を強化

ネットワーク機器ベンダの米エクストリームネットワークスが3月17日に通信キャリア向けにプロバイダ・バックホーン・ブランチ・コア・エッジ・エンタープライズ（PBBT）ソリューションに注目が集まっている。次世代ネットワークの主要アプリケーションが加速する世界各国の大手通信キャリアが、NGNソフト効果獲得、確定的なネットワークパフォーマンスを確保したキャリアクラスのイーサネットスイッチ調達を急いでおり、コアネットワークからエッジまでのイーサネット網に対応するエクストリアムのPBBTソリューションに関心が高まっている。同社CEO Frank P. BBT氏は、同社担当インテグレーションのピーター・ラング氏はこの本紙の取材に対し、すでに大手キャリア10社がPBBTのトライアルを進めており、このうち4社の導入が内定したことを明らかにした。

「新しいPBBTソリューションは、通信キャリアのニーズに応え、エッジからコアまでのネットワークに対応するために開発したものだ。通信キャリアが経済的なネットワークインフラへの移行を確実に推進するための重要な構成要素となる。イーサネットをベースとする新サービス需要が急増する市場において、NGNソリューションの規模拡大に対応したVPLSネットワークを構築すると語った。

「新しいPBBTソリューションは、通信キャリアのニーズに応え、エッジからコアまでのネットワークに対応するために開発したものだ。通信キャリアが経済的なネットワークインフラへの移行を確実に推進するための重要な構成要素となる。イーサネットをベースとする新サービス需要が急増する市場において、NGNソリューションの規模拡大に対応したVPLSネットワークを構築すると語った。

通信興業新聞

通信興業新聞社

発行所 東京都中央区銀座 7-3-13
 行 人 木 茂
 郵便 104-0061
 電話 (03)3572-4488(代)
 FAX (03)3572-4866
 振替口座 00170-6-100661